

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 26 年 12 月 23 日

第 61 号



▲四国別格二十霊場 慈眼寺（徳島県）

看看臘月尽

看^み看^み看^ろ臘^う月^げ尽^つ

（出典 虚堂録）

「看看臘月尽」

臘月とは12月、希望と抱負を抱いた新年も、あつという間に年の瀬を迎えた今、果たしてこの一年何をやり遂げたのか。悔いは無いか。

諸行は無常で、時は人を待つてはくれない。誰にもとめられない早さで過ぎ去っていく。

ならば一日を一年一生とみて、焦らず急がず、一日を大切に生きよう

師走を迎えての断想

「常に無常を忘れてはならない」

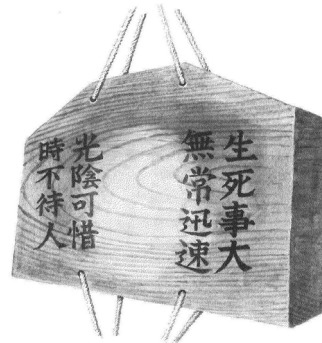
門松や冥土の旅の一里塚

めでたくもあり めでたくもなし



室町時代の臨済宗大徳寺派の僧侶、一休宗純(じゆん)禪師(1394-1481)が詠んだと

いわれる有名な歌です。正月を迎えたと祝い気分の町中を、墓場から髑髏(どくろ)を拾ってきて杖の先にくくりつけ、「めでたいのう、めでたいのう、ささらに「ご用心、ご用心」と言いながら歩きまわる年始回りをしたというものです。



ようでは、あつという間にその大晦日はくるぞ。ご用心、ご用心。何とも皮肉っぽい話ですが、生まれたその時から日一日と死に向かっていることを説いています。

禅僧修行道場には夜明け、日没、解定(かいちん)又は開枕(かいちん)。消灯のこと)などを知らせる木板が掛かっています。その盤面には「生死事大 無常迅速 光陰可惜 時人不待(ときをひとをまたず)」と書かれていることがあります。「生死は人間にとって最も重大なことだ。つまり、禅の修行者の最大のテーマは、生と死を明らかにする」ことに尽きる。だが、諸行(しよぎやう)は無常で、本当にあつという間に時は過ぎていつてしまう。光陰(こういん)つまり時を惜しんで修行しないと、なにも明らかにならず一生が終ってしまう。時間は生命そのものだ。そしてその時間は人を待たない。」(「MOKU」)



より)
やはり一日一日の時間の大切さを説いています。
お釈迦さまの言葉をまとめた『法句經(ほつくぎやう)』の一節です。

悪(このみ)の果実(くわい)はまだ
熟(う)れざる間は
あしきをなせる人も
幸福(さいわい)を見ることがあるべし
されど
悪(このみ)の果実(くわい)
熟するにいたらば
その人(わがわい)ついに
不幸(ふしあ)に逢(あ)わん



人間はもとより罪深い存在ですが、その罪が熟するまでその罪の深刻さがわからず、幸せと勘違いしてしまいます。その罪の深刻さがわかったときは、時すでに遅しということですよ。人としてこの世に生を受けたその瞬間から、まっしぐらに死へと向かうことになりました。「悪の果実(くわい)はまだ熟れざる間」は、生きるためのよすがとして追い求める煩惱の数々があり

ます。それを消し去ることは容易なことではないことも、また私たちは知っています。しかし、「悪の果実熟するにいたらば、その人ついに不幸に逢わん」と、取り返しのつかない過去を悔やむのなら、今この時、この瞬間の生き方を問わねばなりません。

ここは保ちがたく

かるくたちさわぎ

意のままに

従いゆくなり

このころを

ととのうるは善し

かくととのえられし心は

たのしみをぞもたらす



私たちの心はなかなか調えにくいものです。放っておくと感情のおもむくままに立ち騒ぎ、自分だけではなく他人も乱してしまいます。その心をしつかり調えることが大切で、調えられた心にこそ、真実の楽しみがうまれてくると、お釈迦さまは説かれています。最後に、お釈迦さまの最後の教えを示します。

「身を正し、心を正し、ことばをまことあるものにしなければならぬ。貪ることをやめ、怒りをなくし、悪を遠ざけ、常に無常を忘れてはならない。」(「仏教聖典」より)

達磨忌と開山忌を営みました

11月3日、禅宗最初の

祖師(釈尊から28代目)

達磨大師の報恩法要を、

参拝の檀家さんと一緒に

営みました。併せて、当

山を開かれた開基・来翁

祖諱和尚、勧請開山・一

笑禅慶大禅師の法要も行

いました。

法要後は、当番さんが

調理され、法要に御供え

したけんちん汁、白和

え、ふろふき大根、茶飯

を、今度は参拝者皆さんと一緒にいただきました。



▲達磨大師像



▲午後からは管長さまのDVDを鑑賞しました

午後から

は、妙心寺派

管長の嶺興嶽

老師のDVD

「王道を歩め」

を鑑賞しまし

たが、皆さん

最後まで熱心

に観て頂きま

した。

なお、午後

忌を営みました。

京都花園・妙心僧堂の但馬遠鉢

今年も妙心僧堂の但馬遠鉢として修行中の雲水さん3人が、12月14日に来山されました。



妙心僧堂の但馬遠鉢は昭和26年頃から松禪寺を拠点に始まったものです。翌15日はしぐれ模様のなか、町内を托鉢してまわり、多くの皆さんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



▲手作りの料理をお供えし、いただきました



◆評議員14名については、一年で交代される地区が多いのですが、新たに評議員となられた方のお名前の報告を速やかにお願います。評議員総会は、明年1月24日に開催します。

正月2日（金）より年頭に各檀家さんを回らせていただきます。2日は但東町内を回り、それ以外は3日（土）に回りますので、よろしくお願いいたします。



•

•

•

•

•

平成
27
年

(2015年)

に年忌法要を迎

える故人の歿年

度は左記のとおり

りです。法要の

実施日について

は、なるべく早

めにご連絡くだ

るご先祖様がお

品でお尋ねくださ

出していますの

ください。また、

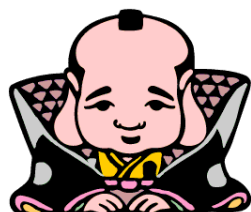
上げます。

さい。年忌正当年にあたられるご先祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお尋ねくださるか、年忌操出を本堂に張り出していますので、寺にお越しの際にご覧ください。また、年明けには個別に通知を差し上げます。

評議員総会 平成 27 年 1 月 24 日（土）午前 10 時開会

【平成27年度年回表】

● 一周忌	平成26年没
● 三回忌	平成25年没
● 七回忌	平成21年没
● 十三回忌	平成15年没
● 十七回忌	平成11年没
● 二十五回忌	平成3年没
● 三十三回忌	昭和58年没
● 五十回忌	昭和41年没
● 百回忌	大正5年没



契約者募集中

先祖代々など複数霊位のお祀りも可能

松禪寺

E-mail kenpou@syozen.com

